

会議録

会議の名称	令和7年度（2025年度） 第3回 枚方市男女共同参画推進審議会
開催日時	令和8年（2026年）1月27日（火） 14時00分から 15時00分まで
開催場所	第2委員会室（Web会議併用）
出席者	松田会長、内藤副会長、今森委員、北村委員、鹿野委員、高尾委員、玉野委員、迫間委員、三木委員、山本委員（以上10名）
欠席者	—
案件名	案件1 第4次枚方市男女共同参画計画（案）への市民からの意見について 案件2 第4次枚方市男女共同参画計画（案）の答申について
提出された資料等の名	次第 資料1 第4次枚方市男女共同参画計画（案）に関する市民意見の聴取について（結果公表） 資料2 答申書（案） 資料3 第4次枚方市男女共同参画計画（案） 答申書添付：第4次枚方市男女共同参画計画策定の経過 答申書添付：枚方市男女共同参画推進審議会委員 参考資料1 12月定例会議会における議会からの質問・要望 参考資料2 第4次枚方市男女共同参画計画（案）概要版
決定事項	・案件1について追加意見があれば、別紙意見記入用紙に記入し、1月30日（金）までに事務局に提出することを確認した。 ・資料2、3について審議会会長より市長へ答申することを確認した。
会議の公開、非公開の別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の別及び非公表の理由	公表
傍聴者の数	0人
所管部署（事務局）	市長公室 人権政策課

審 議 内 容	
発言者	発 言 の 要 旨
松田会長	<p>それでは、定刻になりましたので令和7年度第3回枚方市男女共同参画推進審議会を開催します。委員の皆様におかれましては公私御多忙の折、御出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>初めに事務局から委員の出席状況などについて報告をお願いします。</p>
事務局	<p>本日の出席委員は10名で定足数に達しており、この審議会が成立していることを御報告いたします。</p> <p>なお、本日の傍聴者はいらっしゃいません。</p>
松田会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それでは審議を進めてまいります。皆様よろしくお願いたします。</p> <p>さて、この審議会では昨年度から第4次枚方市男女共同参画計画策定について審議を行ってきましたが、前回の審議会でその結果を審議会として取りまとめ、計画案を確定いたしました。その案について12月にパブリックコメントに準じた形で市民の皆様の意見聴取を行いました。その結果、個人2名、そして2団体から御意見をいただきました。御意見への対応については事務局にたたき台としての案をまとめてもらっています。本日は御意見について審議会としてどのように考えて対応するか、案を基に整理したいと思います。</p> <p>それでは、案件1「第4次枚方市男女共同参画計画（案）への市民からの意見について」、事務局から説明をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<案件1（意見1）の説明>
松田会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>案件1の市民意見聴取の部分は個人2名、団体2組から出していただいた意見が5つありますので、それを1つずつ吟味していきたいと思います。</p> <p>まず、1番の管理職や委員の目標値について何か御意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
高尾委員	<p>市民意見で指標18については100%と書かれているのに対して、回答ではご意見のとおり男女比50%を目指すと記載しており、こういう表現でいいのか気になりました。</p>
玉野委員	<p>市民意見についてはおそらく女性員比率が35%を達成している審議会の割合を100%にする旨が書かれています。確かに審議会の考え方ではどこの部分を答えているのか分かりにくいかなと私も思いました。</p>
今森委員	<p>防災会議の女性委員比率が非常に低く、会議が形骸化されているようで興味があつたので調べてみました。令和4年度の名簿が出てきて約30名のうち、枚方市の方は12名いらっしゃいました。消防署、警察など枚方市の防災に関する主な団体の代表の方、会長や副会長で、なかなかここから女性を出すことは難しいと分かりました。ただし、枚方市から12名出られていて、その中で女性は保健所長と</p>

	<p>市長公室長の2名だけでした。12名のうち2名なので16～17%が枚方市の中の女性比率です。外部に女性委員の選出をお願いすることはなかなか難しいと思いますが、市の中からトップではなく2番目3番目の理事級の方に出させていただくことはできるのではないのでしょうか。それを見て、市が頑張っているのだからうちも、というふう外部の団体もなるのではないかと期待をしています。</p>
玉野委員	<p>数字についてはあまり現実的でない数値を設定しても、結局達成できないという話になるため、ここに記載する数字は現実的にこれから目指すべき数値を書けばよいのではないかと考えています。</p> <p>また、先ほどおっしゃったどの部分に対応しているのかを、もう少し明確に示したほうがよいとも感じました。</p>
松田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>昨日、打ち合わせをさせていただきましたが、その中でもご意見があり、男女比50%と明記することについては慎重になるべきだという考え方もあります。そのあたりについては、改めて調整をお願いしたいと思います。また、男女比50%をすべての委員会で目標とすると、逆に形骸化する可能性もあるため、その点についても注意する必要があるかもしれません。</p> <p>1番については以上でよろしいでしょうか。では、次に2番のご意見についてお願いいたします。</p>
事務局	<p><意見2について説明></p>
松田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>こちら何かコメント、御意見、御質問等はないでしょうか。</p> <p>ちなみに、登録団体は8団体で、「ウィル・フェスタ」というのは、かつて実施されていたということによろしいでしょうか。そのあたりについて、少しご説明いただけますか。</p>
事務局	<p>現在、男女共生フロア・ウィルはステーションヒル枚方に移転しておりますが、以前はメセナひらかた会館、現在の総合文化芸術センター別館にありました。その際、各フロアをお借りして「ウィル・フェスタ」という催しを開催しておりましたが、ウィルの講演会や映画会とともに市民団体の展示や活動発表も行っていましたが、コロナ禍や移転の影響もあり、総合文化芸術センターの会場を借りることが難しい状況が続いておりました。</p> <p>しかし、今月1月26日からは、ステーションヒル枚方のウィルにて「ウィル・ミニフェスタ」として再開する予定です。今週の土曜日には、小規模な講座や団体の活動発表、展示などを実施する予定となっております。</p>
松田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>いかがですか。よろしいでしょうか。では、続きまして3番目の御意見についてよろしく申し上げます。</p>
事務局	<p><意見3について説明></p>
松田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>いかがですか。時々散見するタイプの内容かもしれないですね。</p>
今森委員	<p>社会から求められている「男らしさ」が男性を生きづらくさせているという点</p>

	について、具体的にはどのような場面を指しているのか教えていただけますでしょうか。
事務局	例えば、「男だったら力仕事をするのが当然」「男だったらもっと頑張らなければならぬ」といった社会的な思い込みによって、その期待に応えようと無理をしてしまう状況に置かれている方もいらっしゃいます。
松田会長	よろしいでしょうか。では、4番目についてお願いします。
事務局	<意見4について説明>
松田会長	ありがとうございます。 よろしいでしょうか。では、最後の5番目についてお願いします。
事務局	<意見5について説明>
松田会長	こちらはいかがでしょうか。特にないでしょうか。 では、1番から5番まで駆け足で進めましたが、追加で1番から5番の中でどこでもよろしいので、ご意見やお気づきの点があればお聞かせください。
山本委員	5番の「審議会メンバーを募るようにしたらどうか」というご意見についてですが、審議会メンバーを数名増やすのも良いと思います。 また、傍聴者の方も現在は自由に参加できるようになっているのでしょうか。本日、開始時に傍聴者が0人だったとお聞きしましたが、そういった状況も踏まえて、何人かをメンバーのように固定して決めてしまうという方法も考えられるのではないのでしょうか。
事務局	傍聴の方について補足させていただきますと、傍聴される際に用紙をお配りしており、そこに様々なことを書いていただけるようにしております。もし傍聴された方が何か記入され、それがこの審議の内容に係るものであれば、ご紹介することも可能かと思えます。ただし、実際に記入される方はあまりおらず、そのような事例は今のところありません。もし今後そういったことがあれば、ご紹介などさせていただければと思っております。
山本委員	傍聴の方がこちらに来られることは可能でしょうか。
事務局	はい。傍聴には事前の申し込みが必要となっております。今回に関しては申し込みがなかったため、傍聴者はおられませんでした。審議会の開催については、1週間以上前から市役所内で掲示し、ホームページでも周知しており、傍聴希望の方には申し込みをお願いしている状況です。
松田会長	ご意見ありがとうございました。 市民の皆様からいただいたご意見により、改めて計画内容を再確認できたのではないかと思います。また、市民の立場から重点的に取り組んでほしい点についても明らかになったのではないかと感じております。 この審議会の考え方について、本日ご検討いただきましたが本日以降もご意見をいただけるとのことですので、事務局から今後のスケジュールについてご案内をお願いしたいと思います。
事務局	<今後のスケジュール、参考資料1について説明>
松田会長	ありがとうございます。

	<p>こちらはあくまで参考資料として添付いただいたものですが、市議会からのご質問や要望に関する資料でした。この参考資料をご覧になってお気づきの点やコメントがおありの方はいらっしゃいますでしょうか。</p>
	<p><質疑等なし></p>
松田会長	<p>それでは、いただいたご意見を踏まえた審議会の考え方の確定については、この後、会長と副会長に一任し、最終調整を進めるということによろしいでしょうか。</p>
	<p><意見等なし></p>
松田会長	<p>ありがとうございます。では、そうさせていただきたいと思います。 次に案件2「第4次枚方市男女共同参画計画（案）の答申について」、事務局から説明をお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p><案件2について説明></p>
松田会長	<p>ありがとうございます。 こちらで答申に向けての計画案の最終確認ということになりますが、御意見や御質問はありませんでしょうか。</p>
内藤副会長	<p>ささいな点ではありますが、今読み上げていただいた45ページや46ページの「※1」について気になりました。割合の部分すべてに「※1」がついているのですが、意味は理解できるものの、すべてに同じ「※1」が付いているのは少し気になります。例えば、最初の割合のところだけに「※1」を付けて、説明の最後に「指標2以下の割合も同様である」などの表記を加えるなど、別の対応方法ができないかと思いました。</p>
松田会長	<p>書式について御対応いただけますか。</p>
事務局	<p>はい。ページごとに注釈を入れさせていただいているので、おっしゃるように45ページは全てがこのアンケート数値の数値なので、「1」を取らせていただくという形でよろしいでしょうか。</p>
内藤副会長	<p>はい。今の御提案でもいいのかと思いますし、「※1」を1か所だけでまとめてしまってもいいのではないかと思います。</p>
玉野委員	<p>47ページの割合等、割合と書いてあるものはすべて「※1」の数値なのでしょうか。</p>
事務局	<p>そうではなく、例えば管理職の女性割合は市役所の実数に基づいております。一方で、男女共同参画に関する市民アンケート調査による割合のものについては、「※1」をつけています。また、その他のデータについてはそれぞれ「※2」「※3」といった形で注釈を付けさせていただいております。</p>
玉野委員	<p>内藤副会長がおっしゃったことは確かにその通りだと思いますので、書き方を少し工夫していただければと思います。ただ、「割合」と表記されているからといってすべてが同じデータに基づいたものであると誤解が生じないように、書き方に注意する必要があると感じております。</p>
松田会長	<p>御対応いただけますか。よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>はい。検討して、御報告させていただきます。</p>

松田会長	<p>内藤副会長ありがとうございました。</p> <p>他にいかがでしょうか。本日、答申が行われますので、これをもって答申に向けた計画案の最終確認とさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>それでは様々なご意見をありがとうございました。これにて、第4次枚方市男女共同参画計画（案）としてまとめることができました。資料として配布いたしました答申書（案）に計画案を添付し、午後4時より会長である私から市長に答申させていただきます。また、答申書には審議会委員の皆様のお名前と計画策定の経過を別紙資料として添付いたしますので、ご確認ください。</p> <p>さて、昨年度から審議を開始し、2年にわたり計画の策定について議論を重ねてまいりました。各々の立場から様々なご意見をいただき、その議論を積み重ねることで、この計画案をまとめることができました。現行計画からの課題に加え、新たな視点や課題も取り入れることができたと考えております。本日が今年度最後の審議会となります。皆様、長期間にわたり本当にお疲れ様でした。</p> <p>最後に、内藤副会長からも一言お願いいたします。</p>
内藤副会長	<p>今年度最後の審議会となりますが、皆様にお集まりいただき、ご審議も非常に活発に行われ、とても良かったと感じております。策定に関わった枚方市の職員の皆様や松田先生をはじめ、関係者の皆様のおかげで最後まで計画をまとめることができ、大変ありがたく思っております。</p> <p>皆様、本当にお疲れ様でございました。</p>
松田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他に何かございませんでしょうか。</p>
玉野委員	<p>委員名の「まりこ」の「こ」が漢字の「子」になっておりますので、こちらをひらがなの「こ」に直していただければと思います。</p>
事務局	<p>失礼しました。修正いたします。</p>
高尾委員	<p>直接の関係はないかもしれませんが、本日で計画が確定し、これから具体的な取り組みとしてアクションプログラムが次の課題になってくるかと思えます。この計画の中で挙げられているウィルの活用や、市民の意見をどのように反映させるかといった点について、私が関わった事業をひとつご紹介したいと思います。こちらの事業もぜひ活用していただければと考えております。</p> <p>当初は枚方市も共催されていたかと思いますが、大阪工業大学情報科学部が実施している「ソーシャル・オープンイノベーションチャレンジ」というプログラムです。毎年4月から6月にかけて、ステークホルダーである地域の課題を出してもらい、学生がアイデアソンを行います。その後、具体的なICTを活用した解決策を1月のチャレンジコンテストで発表するというプログラムです。学生たちは地域の課題についてさまざまなアイデアや具体的な解決策を考えてくれます。今年度も枚方市では政策推進課、都市計画課、文化財課などが課題を出しており、例えば政策推進課からは「市民のニーズを踏まえたまちの課題解決に向けたニーズの把握と分析」について考えてほしいという課題が出されています。また、都市計画課からは「都市計画に関心を持ってもらうこと」や「市民の意見を上手に引き出し、わかりやすく伝える方法を考えてほしい」という要望が出され、学生</p>

	<p>たちがチームを組んで取り組んでいます。</p> <p>このように、ウィルの活用方法やウィルの宣伝方法について ICT を使って考える課題を出せれば、資金もかからず非常に良い取り組みになると考えております。ぜひこのプログラムに提案や課題の提供を検討いただければと思います。恐らく市の関係部署には照会が行くかと思いますが、ぜひ積極的に活用されることを期待しております。ウィルの宣伝や活用方法をいろいろと広げていく手段として、とても有効ではないかと考えております。</p> <p>以上、簡単ではございますが、ご紹介させていただきました。</p>
松田会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、閉会に当たりまして、市から一言御挨拶をさせていただきたい旨の申出をいただいておりますので、よろしく願いいたします。</p>
市長公室長	<あいさつ>
松田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、予定した案件は全て終了しました。これで第3回枚方市男女共同参画推進審議会を閉会といたします。皆様、お疲れさまでした。</p>